

# 2023年 プログラム近況報告書

## カンボジア トモ・プオ地域開発プログラム

温かいご支援をありがとうございます



チャイルド・スポンサーの皆さま、トモ・プオ地域子どもたちにご支援をいただき、ありがとうございます。皆さまのご支援により、地域の生活が改善され、子どもたちは守られながら健やかに成長しています。

ヴッ・ナイ  
トモ・プオ 地域開発プログラム  
マネージャー

### ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

62

地域で62の読書クラブが設置されました。活動のための研修や教材も提供され、子どもたちが放課後に読書を学べるよう毎週活動を行っています。

130

地域の教師130人が、子どもの保護、男女平等、子どもの権利を尊重する肯定的な子育ての取り組み方について学びました。学校が子どもたちにとってより安全な場所になっています。

カンボジア : 日本 出典: 国連開発計画 (UNDP) 2020年、2022年

5歳未満児死亡率  
(出生1,000人あたり)



平均就学年数



中等教育を受けた女子





「以前は授業がよく分からなかったのですが、あまり楽しくありませんでした。でも、新しい教材を使うようになって、先生がゲームなどをしながら楽しく教えてくださいました。物語を読むのも大好きです」  
ラチャナちゃん、8歳（右端）

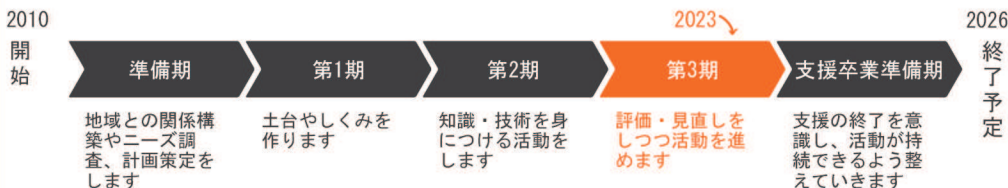
## 大きな変化をもたらされています

# 2,630

地域の保護者2,630人が、体罰をしない子どもの権利を尊重した子育て方法を学び、子どもたちを虐待から守れるようになりました。

# 325

地域の子どもへの暴力をなくすために、325人の子どもたちが、子どもたちにとって有害な行いや慣行（体罰、家庭内暴力、児童婚など）に反対し、声を上げるなどの行動を起こしました。



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

# 「まるで私たち家族に 奇跡が起きたみたいです」



「私のお父さんは毎日お酒を飲んでばかりいたので、家族みんなつらい思いをしていました」と話すのは、スレイちゃん（17歳）です。「そんな境遇が恥ずかしく、孤独を感じていましたし、学校でもやる気が起きなくて、辞めたいと思っていました。お父さんがお母さんに暴力を振るうのをやめて、家族が幸せに暮らせるようにと願っていました」

その後、スレイちゃんの両親は、チャイルド・スポンサーの皆さまの温かいご支援により、ワールド・ビジョンの家族関係を改善するための研修に参加することができました。

「研修を受けた後、お父さんの態度は一変しました。まるで私たち家族に奇跡が起きたみたいです」とスレイちゃん。「お父さんは、お酒をやめて畑でお母さんと一緒に働くようになりました。私の勉強も応援してくれています。一生懸命勉強して、将来は医者になりたいと思っています」



QRコードから、「マイ ワールド・ビジョン」にご登録いただくと、チャイルドと支援地域の情報をご覧いただけます

パソコンからは、トップページの「支援者の皆さまへ」に進み、「アカウントの作成」ボタンからもお手続きいただけます

# ご支援により、子どもたちを 取り巻く環境が改善されています

## カンボジア トモ・プオ地域開発プログラム (CAM-195745)




2022年度 (2021年10月1日～2022年9月30日)

### 会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	54,016,549
前期からの繰越額	2,217,586
プログラム支援額合計	56,234,135

プログラム支出額	
教育プロジェクト	18,896,340
子どもの保護プロジェクト	12,787,541
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	24,753,568
プログラム支出額合計	56,437,449
次期繰越額	-203,314

### 活動内容

-  **教育プロジェクト**
  - 主に小学生を対象とした読み書き・計算能力の強化
  - 読書教材の提供と読書キャンプの開催
  - 教員を対象とした教授法に関する研修
-  **子どもの保護プロジェクト**
  - 子どもに対する暴力および子どもの権利に関する啓発活動 (子どもたちが対象)
  - Celebrating Familiesモデルによる親や保護者を対象とした育児法の研修 (児童労働、虐待等の防止、家庭での子どもの学習フォローアップ等)
  - 行政職員を対象とした子どもの保護に関する研修開催
-  **スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト**
  - 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
  - チャイルドの定期的なモニタリング
  - 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
  - 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策および個別世帯へのサポート (マスク・アルコールの供与、啓発活動等)



お問い合わせ  
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
TEL : 03-5334-5351



Eメール : [dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp)  
ホームページ : [www.worldvision.jp](http://www.worldvision.jp)